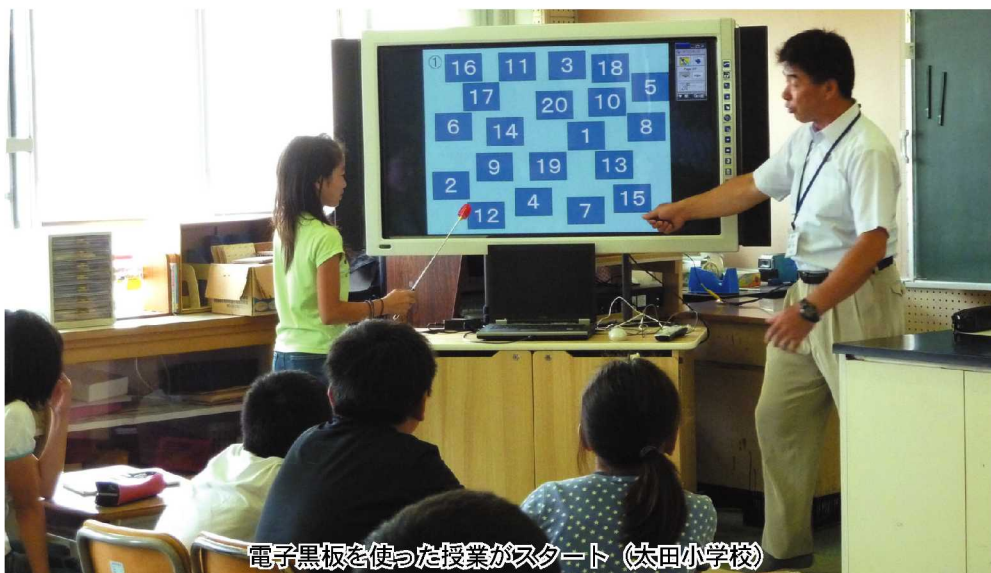


議長に大松政司議員、副議長に岡林憲二議員を選出【5月臨時会】

小・中学校の耐震補強工事の契約議案などを可決【6月定例会】



電子黒板を使った授業がスタート(太田小学校)



5月13日、14日の両日に開いた第1回臨時会では、議長に大松政司議員、副議長に岡林憲二議員を選出しました。

また、各常任・議会運営委員、監査委員、組合議会議員の選出を行い、議会の役職構成も決定しました。

5月臨時会

議会運営委員会

◎西村芳徳
○京西且哲
池内矢一
鳥居宏次
森隆夫
山田幸三
井上孝三
小川和夫

第1回臨時会では、議長・副議長の選挙や各常任委員・議会運営委員の選任などを行いました。
第2回定例会では、市長から19件の議案が提案され、原案のとおり承認・可決・同意しました。議員からは、意見書2件を提案し、可決しました。一般質問では、6人の議員が市政各般にわたり理事者の見解をたきました。

事業常任委員会

◎雪本清浩
○米田貴志
池内矢一
稲田悦治
西村芳徳
中井良介
中塚茂春
石田亀太郎

文教民生常任委員会
◎小寺峰男
○池田啓子
松本妙子
信貴芳則
鳥居宏次
井上孝三
小川和夫

意見書を可決

国会や内閣総理大臣、関係各大臣に提出しました。

子ども手当の全額国庫負担を求める意見書(要旨)

政府は、平成22年度から「子ども手当」をスタートさせている。当初、その財源について、全額国庫負担と明言していたにも関わらず、一方的に地方にも負担を求める結論を出した。

23年度以降の子ども手当の本格的な制度設計においては、政府が当初明言していた通り、全額国庫負担とし、新しい制度としてスタートすることを強く求める。

公契約における賃金・労働条件の確保を求める意見書(要旨)

いま、国や自治体の公共・委託事業をめぐって、人件費を無視したダンピング受注などが横行し、下請企業や資機材などの納入業者、及びそこで働く労働者に深刻なしわ寄せが及んでいる。

ILO(国際労働機関)が1949年6月に採択した94号条約(公契約における労働条項に関する条約)では、国や自治体など公的な機関が発注する事業に従事する労働者に、適正な水準の賃金・労働条件を確保するよう契約に明記することを義務づけている。

しかし、日本はいまだ批准していないため、現行の法制度の中では、国や自治体の事業に従事する労働者の賃金を適正に確保するための直接規制を行うことができない。

国及び政府は、ILO94号条約を批准し、公共関連事業や官公需に携わる労働者の賃金・労働条件を適正に確保する「公契約法」を制定するよう強く求める。

岸和田市貝塚市清掃施設組合議会議員

米田貴志
京西且哲
池内矢一

監査委員

◎委員長
○副委員長
今口千代子

◎村野榮一
○澤西且哲
岡林憲二
大松政司
森隆夫
岸田幸夫
山田幸夫
今口千代子
西田昌

総務常任委員会

※8月1日現在の名簿です。

6月定例会

大阪府都市競艇組合議会議員

山田幸夫

澤田榮一
稲田悦治
西村芳徳
岸田厚太郎
石田亀太郎

第2回定例会は、6月17日に開会し、まず、監査結果の報告や土地開発公社などの経営状況の報告を受けました。

続いて、専決処分承認の後、条例改正などの議案17件が提出され、提案理由の説明の後、それぞれ関係する常任委員会に審査を付した。

最後に、事業常任・総務常任・議会運営委員会の特定事件については、閉会中も継続して調査することに決定し、閉会しました。

託しました。
その後に行われた一般質問では、6人の議員が市政の重要課題について、理事者の見解をたきました。
(2・3面に掲載)
22日、24日に開かれた各常任委員会では、所管事務概要の報告を受けた後、付託議案の審査を行いました。25日には、委員会審査した議案について、各委員長から審査結果の報告を受け、いずれも満場一致で可決しました。